

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	「本人の立場に立ったケアを心掛ける」を理念に掲げ日々の職務に携わっている。入居者様へ払われるべき敬意、疑似家族としての間近な距離感。両者のバランスが入居者様にとって心地よい物になるように鋭意努力はしているが個々の考え方や感じ方には相違があり対応の理由や方法への理解が不明瞭に感じる事がある。	個々の言動が入居者様に向けられた善意である事を前提条件とし選択し行った言動への理由、考え方が胸を張って説明出来るようにする。独りよがりの介護になってしまわぬように多くの意見や考え方に触れ選択肢を増やしていく。	日々の実践の中で疑問、不安に感じた実際の事例を各ユニット毎に取り上げ定期的に議論をする場を設けていく。個々の入居者様について掘り下げ細かな情報も共有する場とし今後の介護に活かしていく。	12ヶ月
2	35	近年の異常気象の影響もあり気象災害の強大、深刻化が顕著である。フォーマル、インフォーマルを問わず地区の方々とも災害時の対応については意見を出しあえてはいる。しかしながら現状の想定を超えるような状況に於ける行動、対応指針が示されておらず安全性の確保という観点に於いては課題を感じている。	画一的な避難訓練を行うのではなく万が一の想定も考慮しておく。現状での不測の事態を想定内の事案に変えていく。新たな情報、避難行動の変更点等を全ての職員が共有しいつ災害が発生しても安全性の確保が図れる様にしていく。	年間での計画を立て避難、誘導訓練を行的確かつスムーズな対応を可能とする。また現状想定外の事態についても目を向け対応方法について話し合いを行う。御家族様への周知も同時進行で行い連携を密にしていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。